

●港小学校区●



9月1日
総合防災訓練

「南海トラフを震源とするマグニチュード9の巨大地震が発生。高浜市内で震度7を観測」との想定のもとに「総合防災訓練」を実施。1次訓練では、市内全域で、防災無線から流れるサイレンを合図に、自分や家族の無事を知らせる「タオルかけ」が行われました。中には参加率が9割近くの町内会もあったとか。

その後、港小学校で行われた2次訓練では、初めて警察や自衛隊の協力も得て、まち協、町内会、消防団、婦人会、トラック協会、行政などがそれぞれの役割を務め、情報収集や伝達、炊き出し、物資運搬など、気持ちをひとつにして訓練を進めました。中学生も地域の一員として市の災害対策本部へ避難情報などを知らせる伝令役を果たし、「子ども防災リーダー養成講座」の小学生メンバーたちも、大人たちの組み立てる仮設トイレや、負傷者の応急手当のようすに真剣に見入っていました。

また、翼小学校区(神明町・豊田町・湯山町)では、初めて学区全体の「総合防災訓練」を開催し、避難所開設訓練を中心に行いました。町内会、飛翔の会、子ども会、いきいきクラブなど、子どもからお年寄りまで約250人が参加し、新たな絆が育まれたようです。

いざというとき、地域の皆さんそれぞれが知識をもって行動し、連携することでなにもものにも替えがたい力がうまれます。非常事態にそなえ、今回の訓練で体験したことを、家庭やとなり近所で、ぜひ共有しましょう。

●翼小学校区●

